

# 防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会  
会報 第 82 号 (2014. 1. 1)  
事務局川西地区自主防災会

新年明けましておめでとうございます。

かがわ自主ぼう連絡協議会  
会長 岩崎 正朔

1995年阪神淡路大震災以降、自主防災会の役割が大きくクローズアップされ、更に2011年3月11日東日本大震災によって尚一層、その必要性が高まっております。

そのような状況の中、私ども県内有志によって立ち上げた「かがわ自主ぼう連絡協議会」は、昨年5月11日に香川県危機管理総局長 松尾様のご臨席をいただき、初の総会を開催し、キチンとした規約、体制などを整え、新たなる出発を図ってきたところです。



我々協議会が目指しているものについて、年頭の抱負としてのべさせていただきます。

- ① 県内全域にわたって、多くの仲間による助けあい、支えあいのネットワークを構築する  
(人的資源の発掘等)
- ② 行政エリア別にリーダー的自主防災会の育成を図る
- ③ 自主防災会活動の底上げを図るべく、長期にわたるフォローアップ事業を展開する
- ④ 自主防災組織に対する表彰制度の確立等について働きかけを図っていく
- ⑤ 各地区において若い人材の確保と女性の登用を積極的に図っていく
- ⑥ 県や市町危機管理担当部門との更なる連携強化を図る

以上、6項目を重点施策として事業を推進してまいります。ほとんどがボランティア活動であることから、役員すべてが高い理念と使命感をもって成し遂げられるものと思っています。

今後はなお一層の「連携」と「交流」を図りながら香川県内の地域防災力の向上に邁進していきたいと念じておりますので、役員並びに関係者皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。

最後に、新しい年が役員をはじめ自主防災関係者にとって、素晴らしい年でありますようご祈念申し上げ、私の年頭のご挨拶といたします。

## かがわ自主ぼうの一層の御発展を

香川県危機管理総局長 松尾 恭成

かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、共助の要として、地域防災力の強化に多大なご尽力をいただいております。誠に有難うございます。本年も、何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年も、全国各地で台風等による集中豪雨や地震、竜巻など様々な災害が発生しました。本県では、幸いにして大きな被害はありませんでしたが、しっかりと事前の備えをしておかなければならないとの思いを強くしたところです。



さて、県では、南海トラフ等の大規模地震に備えて、本県独自の地震・津波被害想定を公表しましたが、最大で死者が6,200人になるなど甚大な被害が想定される一方で、建物の耐震化や津波からの早期避難により、被害を大きく軽減できることも分かりました。そのためには、県民の皆様一人ひとりの自助の取組みを促進するとともに、自主ぼうの皆様を中心とした共助の「輪」を広げていくことが重要です。

このため、県では、自主ぼうの皆様方のご協力をいただき、昨年から新たな取組みとして、自主防災組織の未結成地区や活動が低調な組織に対し、経験豊富なスタッフを派遣いただく「自主防災組織活動・結成促進フォローアップ事業」を開始するとともに、11月には地震を想定して参加者がそれぞれの場所で自らの身を守る行動を実践する訓練として、「香川県シェイクアウト」を県内一斉に初めて実施し、18万人を上回る方々にご参加いただくことができました。

昨年12月に、「輪」が今年の漢字の第1位になったことが発表されましたが、皆様方の会報であるこの「防災・減災の輪」の「輪」が選ばれ、大変うれしく思いました。

これからも、市町や自主ぼうの皆様方との連携を密にして、地域防災力の強化をはじめとする防災・減災対策を着実に推進してまいりますので、引き続きご支援、ご協力をいただければ幸いです。

最後になりましたが、かがわ自主ぼう連絡協議会の今後ますますのご発展と、今年が皆様方とご家族にとって、良き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

# 事務局だより

平成26年1月

かがわ自主ぼうの最近の活動を紹介します。

## 大型発電機による「給油所」の機能確認実施

私達の居住地では、超巨大南海地震が発生しても海岸線のような大きなダメージを受けることは少ないと考えられます。しかし発生後の1週間は原始生活を味わうこととなります。電気、水道は完全にダウンし、豊かな生活に慣れ親しんだ我々にとっては、想像を絶する体験をよぎなくされます。

このような厳しい状況を救済するために、この大型発電機が威力を発揮します。今回(12月12日)は、「給油所」の機能を回復させる訓練を行い、災害時におけるガソリンや軽油を供給できる体制が整ったと思います。これによって緊急車両や救急施設への燃料供給、さらには避難所の発電機へもガソリン供給が可能となりました。

来年には、川西町にある別の給油所と機能確認を実施する予定です。



## 編集後記

本年もどうぞよろしくお願いいたします。